

南丹市の下水道ビジョン

～水洗化総合計画策定に向けて～

南丹市水道審議会 第3回資料

平成31年1月23日開催

南 丹 市

◇下水道事業の課題

- 1 人口減少による下水道使用料の懸念
- 2 公共下水道の未普及地域の解消
- 3 下水道施設の老朽化対策と適正な維持管理
- 4 市域全体の水洗化の向上促進

南丹市水洗化総合計画 基本方針

南丹市の下水道事業が抱える諸課題に対応するため、次のとおり基本方針を定めます。

- 1 下水道施設の効率的な整備と
適切な維持管理
- 2 持続可能な下水道サービスの提供
- 3 安全・安心な水環境の整備

【基本方針】

1 下水道施設の効率的な整備と適切な維持管理

○下水道施設の現状

➤ 通常の維持管理費に加えて、経年による施設、設備の改築、修繕費が新たに発生するおそれがある。

【具体的対策】

(1)施設の中期的な視点に立ったマネジメント

各施設の状況を的確に把握し、改築・修繕などが集中せず、可能な限り予算や改修時期を平準化させる中長期的な施設管理（マネジメント）計画を作成し、施設の長寿命化対策も図る。

【基本方針】

1 下水道施設の効率的な整備と適切な維持管理

○下水道施設の現状

- 下水道処理施設数が多く、処理区の使用料では維持管理費用が賄えない。

【具体的対策】

(2)汚水処理区の統廃合の推進

人口減少、施設の老朽化に伴う維持管理費の増大等の対策として、地形条件や費用対効果を勘案し、下水道処理区の統廃合を推進します。

【基本方針】

1 下水道施設の効率的な整備と適切な維持管理

○公共下水道の未普及地域の解消

【具体的対策】

(3)事業推進による水洗化向上

○下水道への「不明水」の流入

【具体的対策】

(4)不明水調査の推進

➤排水障害や処理機能低下を招く恐れがあり、施設の維持管理費の増加につながることから、「不明水」箇所の特
定と原因調査、改修等を行っていく。

【基本方針】

2 持続可能な下水道サービスの提供

【具体的対策】

(1)使用料等の収納率の向上と適正な債権管理

(2)地方公営企業法の適用

➤適用の時期 平成32年(2020年)4月1日

➤適用のメリット

○経営状況の明確化

○維持管理時代に対応した経営体制づくり

○利用者への説明責任（アカウンタビリティ）の向上

○職員の経営意識の更なる向上

【基本方針】

2 持続可能な下水道サービスの提供

【具体的対策】

(3)経営戦略の策定による収益的収支、資本的収支の把握

(4)今後の経営方針

前述の課題を踏まえ次のとおりの経営方針とします。

- ①処理区統廃合による処理原価の低減
- ②使用料等の更なる収納率の向上
- ③施設の長寿命化による更新費用等の縮減
- ④委託の見直し等による施設管理費の削減

【基本方針】

2 持続可能な下水道サービスの提供

【具体的対策】

(4) 今後の経営方針

⑤ 使用料単価の改定検討

①～④の取組みを鋭意進めることで持続可能な下水道事業の経営を確立することを基本とします。

しかし、それらの取組みをもってしても、経営の健全化が困難な見通しとなったときは、使用料金の単価改定を検討することとします。

【基本方針】

3 安全・安心な水環境の確保

【具体的対策】

(1)災害への備え

災害対策への備えは、日ごろの備えとハード、ソフトを組み合わせ、全庁組織的な取り組みと関係機関との連携により、対応していきます。

【基本方針】

3 安全・安心な水環境の確保

【具体的対策】

(2)地震に対する防災・減災対策の推進

大規模地震が発生した時、下水道施設の早期回復を図ることが必要不可欠。

そのためにも、平時から災害に備え、優先実施業務を確認し、災害時には中断させず、例え中断したとしても許容時間内に復旧できるように「下水道業務継続計画(BCP計画)」を策定し、運用しています。

【基本方針】

3 安全・安心な水環境の確保

【具体的対策】

(3)市街地の浸水対策

近年は、短時間に記録的な大雨がしかも局地的に降る傾向にあり、加えて台風が大型化してきています。

市街地の浸水対策を実施してきましたが、従来の整備の考え方では追いつかなくなっている実態です。

➤浸水対策は、河川改修が最大の効果がありますが、それには莫大な時間と費用を要するため、河川流域の関係市町の各部署が連携し、総合的な治水対策を講じる必要があります。

下水道事業の今後の展望

1 水洗化総合計画の推進

南丹市下水道事業の経営は、一般会計繰入金に依存した事業会計であり、人口減少が進行すれば、使用料の収益の改善は非常に困難であり、概ね5ヶ年ごとに本計画を見直し、時代に即応した総合的な下水道事業を推進する総合計画とします。

計画の推進は、計画の策定 (Plan)、事業の実施 (Do)、実施の達成度を確認 (Check)、その計画の改善 (Action)。そして次の事業計画 (Plan) に反映し、事業を実施 (Do) していく。というように4段階をPDCAサイクルとして向上させ、継続的に業務を改善させていきます。

下水道事業の今後の展望

2 下水道事業の中長期的展望

南丹市の下水道が供用開始して四半世紀、普及率は99%を超え、生活に欠かせないライフラインとなっています。

《下水道事業の現状》

- ・ 人口減少による使用料の減収
- ・ 施設の老朽化による維持費の増加
- ・ 国庫補助制度や地方交付税制度の改正論議

下水道事業の今後の展望

2 下水道事業の中長期的展望

《下水道事業の長期的展望》

- 可能な限りの処理区統廃合の検討
- 集合処理から個別処理への転換検討
- 効率的な下水道経営

飛躍的に下水道経営を向上させる特効薬はないため、係る現状を市民の皆さんに公表し、ご理解いただくよう努め、事業を検証しながら、本計画を定期的に見直していきます。

パブリックコメントの結果

➤ 募集期間

平成30年12月3日～平成31年1月11日

➤ 応募件数

1名 7件

➤ 内容

別紙のとおり

パブリックコメント

下水道事業は、伝染病の蔓延防止や快適な生活環境を保全するため、欠くことのできない事業であり、如何なる状況になろうとも将来に渡り、下水道事業を継続していくことが必要です。人口減少や少子高齢化により、厳しさを増す行財政の中、持続可能な下水道事業の推進が必要と考えるため、水洗化総合計画(案)について、下記意見を付して賛成します。

No	意見	対応方針(案)
1	<p>人口が少なく広大な地域を有するわが市にあっては、下水道事業の独立採算は難しく、下水道料金は既に府内市の最高額であるため、一般財源からの繰り入れはやむを得ないものと考えます。</p> <p>このため、下水道料金の値上げに反対します。</p> <p>しかし、①次世代に負担を残さないこと。②下水道事業を継続していくこと。③耐震化等大規模災害対策の推進。を目的に、説明責任を果たし市民の理解を得て、経営努力を重ねた上で、他市とのバランスも考慮した最小限の値上げであれば、やむを得ないものと考えます。</p>	<p>下水道経営の方針を明確に市民に示し、安易な下水道使用料の改定にならないように、今後必要な対策を推進します。</p> <p>そのためにも、水洗化総合計画で課題と対策等を示し、市民の皆さんに理解を求めるものです。</p>

No	意見	対応方針(案)
2	<p>深刻な人口減少・高齢化社会を迎え、税収の減少と社会保障費の増大等により、市の行財政は、破たんする恐れがあるため、現サービスの提供は不可能であり、全事業、全施設のより一層の集中と選択による縮小・廃止等が必要な状況です。</p> <p>下水道事業については、計画(案)により、さらに統合、縮小、廃止、スペックダウン及び計画的な災害対策を速やかに推進していただきたい。</p> <p>現在、統廃合の検討が進められている処理区について、資料のとおり維持管理費でも赤字である上、施設や機器の更新や大規模修繕等が発生すればさらに多額の赤字となるため、投資額や更新機器が少ないうちに、早期に統廃合を進めていただきたい。</p> <p>加えて、合併浄化槽に変更することを含めた検討をお願いします。</p> <p>(合併浄化槽は、福知山市と同じような集合処理と一律の下水道料金を徴収し、市が設置し維持管理も行う方式等の検討をお願いします。)</p>	<p>下水道施設の効率的な維持管理のため、処理区の統廃合を推進します。</p> <p>また、人口減少に伴う使用料の減収と施設管理費等の支出の増大による格差が大きくなる傾向があるので、近い将来、集合処理から個別処理へと転換を検討しなければならない処理区が出てきたときには、浄化槽設置整備も含めて総合的に検討をしていきます。</p> <p>【第1回審議会資料 P16参照】 合併処理浄化槽 個人設置型と市町村設置型</p>

No	意見	対応方針(案)
3	<p>下水道事業は、殆どが人口や処理水量の増加を見込んで実施されていることから、人口減少により、一部の機器が処理規模とミスマッチとなって、必要以上の電力等を消費していると考えられます。</p> <p>こういった機器について、ライフサイクルコスト等を検討の上、廃止やダウンサイジング、スペックダウンを実施し、併せて長寿命で効率的で省エネの機器の導入を計画的に進めていただきたい。</p>	<p>ストック(施設)マネジメント(管理)計画を策定し、健全な維持管理に努め、適正な時期に施設の改築更新を推進していきます。</p>
4	<p>硫化水素が発生する箇所では、施設の劣化が著しい傾向にあります。</p> <p>施設の長寿命化の対策として、このような箇所を早期に調査し、防錆処理等の対策を講じていただきたい。</p> <p>また、更新機器については、ライフサイクルコスト等を検討の上、対策済の機器導入を検討していただきたい。</p>	<p>下水道管渠に悪影響を及ぼす硫化水素が発生すると思われる箇所は、把握しています。</p> <p>既に過年度、相応の対策を講じており、今後も経年的に点検を実施していきます。</p>
5	<p>下水道管は、国道等の地下に入っていますが、近年下水道管の老朽化による道路陥没による車両事故等が全国的に増加しているため、より一層の予防保全等を進めていただきたい。</p>	<p>計画的な施設点検を実施する中で健全な維持管理に努め、適正な時期に施設の改築更新を推進していきます。</p>

No	意見	対応方針(案)
6	<p>下水道事業は、土木・建築・電気・生物等の専門技術が必要な上、下水道施設の更新工事等は、施設を供用しながらの工事となるため、建設時に比べ割高な工事費に加え、高い技術力と経験が要求されます。</p> <p>アウトソーシングはもちろん必要ですが、施設管理者及び発注者としての責任を果たすため、技術職員の確保や育成に努めていただきたい。</p>	<p>南丹市として、また今後公営企業となる下水道事業体として、技術力の維持、継承は必要不可欠なことであり、今後も職員研修や実務の中から、研鑽を積みながら技術力向上に努めていきます。</p>
7	<p>市街地浸水対策について、関係機関等と連携し、園部川等の河川改修推進に全力を挙げて対応してください。</p> <p>しかし、河川改修には相当の日時を要するため、当面、市街地でのマイクロ呑龍や公共空地等での遊水機能の確保の一層の推進や、使われていない農地を遊水地とするなどの推進を図るべきと考えます。</p>	<p>近年、低気圧や台風の大型化により、豪雨による一時的な排水機能が停滞し、市街地の浸水被害が出てきています。</p> <p>市民の安心・安全の確保のため、京都府とも連携し、南丹市全体で防災対策、安全対策を講じていきます。</p>

2018南丹市水洗化総合計画の策定

➤南丹市水道審議会での議論

➤パブリックコメントの募集

※計画(案)を南丹市HPや本庁、各支所での閲覧場所の設置により公表し、意見を求めた。

下水道事業の現状と課題、そして今後の方針を「水洗化総合計画」として、これからの南丹市の下水道事業の“柱”を明確にした。